

## 2 個別事業評価調書

団体名:伊根町

事業名		生活環境維持保全事業					
事業の概要		購入から8年が経過し老朽化していた衛生車の更新を行った。 4t衛生車 タンク容量3,300ℓ 1台					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	6,279	本年度事業費	6,279	交付金交付額	3,139
事業 評 価	事業の必要性	本庁の水洗化率は低くし尿処理は大半を汲み取りにより行っているが、衛生車の保有は1台が限度の状況であるため、車両を常に最善の状態に保つ必要がある。現在使用している衛生車は購入から8年が経過し老朽化しているため早期に更新が必要である。					
	事業の有効性	衛生車を更新することで、車両故障等のトラブルによる業務の停滞が無くなり、円滑な汲み取り業務を行うことが出来る。					
	事業の効率性	車輛の仕様作成時に汲み取り作業員の意見を取り入れ、地域特性に合った仕様にする事で、より一層の作業効率化を図った。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
		6 その他の成果 車両トラブルが無くなることで、作業員の不安と不満が解消され業務に専念できるようになった。また、住民の生活環境を維持し、行政に対する安心と信頼を確保できた。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。